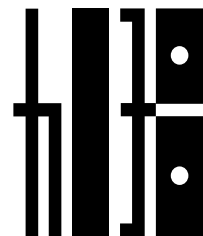


KASHIMO PAPER

October 2019

Vol.174

monthly issue.



かしも通信



特集 加子母歌舞伎公演

地歌舞伎との素敵な出会い

加子母中学校長 清水 辰弥

加子母中学校長
清水辰弥

時今也桔梗旗揚
森蘭丸

地歌舞伎との

素敵な出会い

二〇一八年(平成三十年)三月某日の午後。場所は加子母中学校の校長室。いただいた引継書の最後のページには、「歌舞伎」出演の依頼がある。(出演すると)地域の方々も喜ばれる。七月から九月の公演まで合計で二十日ほどの稽古がある。」と書かれている。

すべては、ここからはじまった。今までほとんど真剣に観たことの無い歌舞伎の世界。全くの素人の私に務まるのか。引継ぎの終わった帰り道、大変不安に思った記憶がある。

毎日の忙しさのために忘れかけていた頃、秦さんからお誘いが「校長先生、歌舞伎に出ていただけますか。」
「依頼があったら、できる限り引き受けるというですよ」と、前任の高木校長先生に言われた言葉を思い出した。そして何より、四月の着任の挨拶。全校生徒の前で、「私の好きな言葉は『感謝』と『挑戦』です。」と言った手前、断ることはできなかった。
「不安でいっぱいですが、私にできることならやります…」と、とても歯切れの悪い返事をしました。そして、ますます不安になった。

団女師匠の「今日が今までで最高の出来でしたよ。」の言葉にほっとした。大きな安堵と、少しの達成感を感じた。こうして一年目が終わった。

振り返ってみると、一つの舞台が出来上がるまでに、表に裏にものすごく多くの方が関わっておられる。前日の準備から、当日の昼食のカレー作りなど、地域の方もボランティアで支えてくれた。当たり前のことかも知れないが、この事実が改めて気付いた。たかさんの支えのおかげで、役者は安心して自分の役を演じることに集中できる。たとえ台詞を忘れても、陰からさつと声がかかる。黒子の方の素早い動きも重要である。一人一人が自分の役割に責任をもちながら、互いにしっかりと支え合っている。よりよいものにしてほしいという目標に向かう、本物の強い組織だからこそ、舞台の上で「二人では無い」ことを実感できるのである。

さて、二年目。時代も令和となった。

「今年の歌舞伎公演では、校長先生は口上をやるそうですよ。」と、どこからか噂が聞こえてき

六月、顔合わせ。場所は白寿荘。台本をいただく。表紙には「青砥橋花紅彩画(あおとぞうしはなのにしきえ) 稲瀬川勢揃いの場」。通称「白浪五人男」と言うらしい。ぱらぱらと中を見ると、なにやら長い長い台詞が…。これは大変そうだ。

初対面の松本団女師匠と丁寧にあいさつを済ませる。そして、師匠から優しい笑顔で一言。「清水校長先生には、赤星十三郎をやってもらいますね。」

それからは、通勤途中の車の中では台詞の入ったCDをかけた。トイレでも、お風呂でも、時には寝ながらも、とにかく台詞を覚えることに必死。頭の中の三分の一くらいは常に歌舞伎。覚えたはずの台詞も、稽古が始まると出てこないことたびたび。さらに、ふりや立ち回りもどんどん増えてくる。それでも、不思議と稽古は苦痛では無かった。その理由は…

加子母の歌舞伎に関わる方々は、どの方も褒め上手。あれ姿勢がよいのだ、声がよいのだ、とにかく褒めまくる。上手いから落ち込むことも多いが、これらの言葉に励まされ、気持ち

た。しかし、「時今也桔梗旗揚(ときはいまきぎょうのはたあげ) 本能寺馬盃(ばだらい)の場」の台本をいただいた。役は森蘭丸。当時十八歳だったという。一番難しかったのは、やはり十八歳という年齢らしい若々しい声。団女師匠からは、「もつと声を張って」と繰り返し指導していただいた。

九月の公演当日は、昨年の経験もあり少し余裕ももてた。今年初めて口上として舞台上に上がった加子母小学校の坂田校長と、楽屋で談笑する時間もあつた。出番が近づき、昨年と同じように、化粧、着付け、…と時間が流れた。

幕が開き、いよいよ花道を進む。「こーちよー(校長)！」のかけ声に、応えようか少し迷ったが、気を取り直しそのまま進んだ。舞台の上では、次の台詞や動きのことで頭の中はいっぱいっばいだったが、ほんの少しだけ、客席で楽しんで観ていただいてる様子をうかがうことができ

た。今年も、短くも中身の濃い、熱い「加子母歌舞伎の夏」が過ぎようとしている。

のよい時間が過ぎていく。歌舞伎の稽古にいくと、自己肯定感がこれでもかというくらいアップする。だから、「また稽古に行こう」と、明治座に足が向かう。

九月の公演当日。これまた何もかも初めての経験。

楽屋で待っていると、そろそろ準備に入るからと呼ばれ、まづ化粧部屋へ。手に油をもらい、手のひらで熱くなるまでこすり合わせる。周りの人の様子を見ながら、顔や化粧する首筋などの部分にこの油をよくのばして塗る。化粧がよくのるためにはとても大切な作業なのだそう。そしていよいよ化粧。だんだん自分が変わっていくような感覚がする。鏡を見て、今までの自分では無いことを確認した。

それから開演までは、ばたばたとあつという間に時間が過ぎた。着物を着て、カツラをかぶり、刀を差し、下駄を履き、唐傘をさすと赤星十三郎が出来上がる。花道奥の鳥屋(とや)で出番を待つ。緊張も最高潮。しかし、もうここまで来たらどうにでもなれと腹をくくり、花道を進む。最後の決めポーズ。大きな拍手と共に幕が閉まった。どうやら最後まで上手いだったようだ。

縁あって加子母に赴任させていただいたこと、地歌舞伎に出会うことができたこと、歌舞伎を通して多くの素晴らしい方々に出会うことができたこと、そして充実したワクワクした時間が過ごせたこと、すべてに感謝である。

清水辰弥



白浪五人男「稲瀬川勢揃いの場」(2018年)
赤星十三郎役の清水辰弥氏

清流の国ぎふ 秋の地歌舞伎公演 2019

令和元年 11月23日(土)
ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

- ◆時今也桔梗旗揚「本能寺馬盃の場」
- ◆時今也桔梗旗揚「愛宕山上使討の場」

※清水校長先生も出演します。



コウノトリ

	2018年度		2019年度	
	男	女	男	女
4月	0	1	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	1	1	2	0
8月	2	2	0	0
9月	1	0	0	1
10月	1	0		
11月	0	0		
12月	0	0		
1月	0	2		
2月	0	0		
3月	0	1		
計	5	7	2	1

(令和元年9月18日現在)

からしお吟社

俳句	短歌	短歌
風鈴のやさしき音色垣根内(うち)	朝顔の碧き大輪開きたる我が誕生日祝うがごとく	外来の野草の増えし道端にねじ花咲くを和みて見つむ

熊崎みつゑ	田口美幸	中島さち子
-------	------	-------

TOPICS



おじいの風切り鎌

ずいぶん前、角領のおじいの畑に鎌が立っていた。「わしが毎年、風切り鎌をたてとるで、台風は加子母をよけていくんや」と笑っていた。おじいが亡くなってから、二百十日に鎌を立てる風習があると知った。この頃加子母も風が吹くのは、おじいの風切り鎌が立っていないせいだろうか、とふと懐かしく思い出した。

「二百十日」(にひゃくとおか)は雑節のひとつ。立春(2月4日頃)から数えて210日目の日で、毎年9月1日頃にあたります。

この頃は稲が開花結実する重要な時期ですが、農作物に甚大な影響を与える台風に見舞われることも多い時期です。そこで、過去の経験から、農家にとっては油断のならないこの日を厄日として戒めるようになりました。



ワーホリ 果物三人娘!

今年、ワーキングホリデーで、たまたま同時期に加子母にやってきた大学生が、桃、梨、杏の三人組!せっかくなので、加子母の印象聞いてみました!

西脇梨花さん

加子母で一番惹かれたのは、新しい試みを受け入れる風土が根付いていて、それが伝統的なものと混在しているところでした。必ずまた来ます!

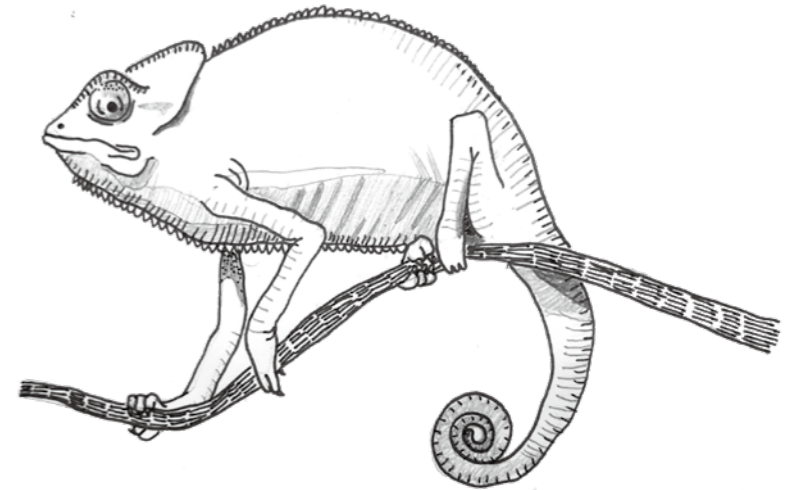
斎藤桃さん

2週間程の滞在でしたが印象はイベントがとても多いという事です!加子母のみなさんも寛容で加子母を好きになりました!

水野杏美さん

人も自然もパワフルで元気を貰いました! 森や川に気軽に言って、そこでぼんやり過ごすのが至福の時間でした。

NOTE



佐野智哉の キヅキノート

9月も終盤になりました。

蛙の音が鈴虫の鳴き声に変わり、秋の訪れを感じる。毎年この時期になると一年が早いなぁと思ってしまうものです。加子母での生活は豊かに過ごせているのは、人や自然の豊かさだけでなく季節に伴う行事にも込められていると感じています。ぼくが加子母に住むずっと以前から続けてきたことなのだと想像すると、しみじみとその風景を眺めている自分がいたのです。

TOPICS

虫の音を聞く前に

我が家の山の神は館山出身である。加子母でタテヤマという、富山県の北アルプス連峰の立山を連想する人が多くて、「えらい山の中から嫁さん貰ったもんや」と言われたことがある。館山というのは、房総半島の南端にある、千葉県館山市だ。家から100メートル前が太平洋の海原で、嫁の名前はそのまま洋子。

貧しい漁村から貧しい山村へ嫁いできて、貧しいことは一緒だが、気質はまったく違う。30年先に伐採する予定の檜の苗を植える山村と、板子一枚の下は海の底で、今日の漁だけを追い求める漁村では、価値観の根本が違うのだ。そのあまり馴染みのない房総半島と館山市がこの10日間程、日本中で有名になってしまった。台風15号の被害である。台風が通りすぎてしまってから一週間が過ぎるのに、千葉県ではまだ、六万戸以上が停電しているらしい。女房の実家も屋根瓦が飛んで、その写真がスマホで送られてきた。70才を過ぎた兄弟にとっては、屋根にビニールシートを張るのも大変な仕事だ。手伝いに行こうかとも思ったが、宿泊やら食事やら反って足手まといになるような気がする。9月の中旬に行われる館山市最大のお祭りも中止になった。

これだけ長く続く被害が東京都の隣の千葉県で起こったのが、不思議だ。天災は想定外が基本なのだが、地域の自治体や、特に東京電力の不手際は、3.11の重大事故以来目に余るものがある。

遠くの山村に住む爺が文句を言っても始まらないが、私が8才のころ加子母にもやってきた伊勢湾台風。もうあれから60年が経つ。

「災害は忘れた頃にやってくる」ということで、この辺は大丈夫という考えをそろそろすてて、地域社会やら、電力会社と真剣に対策をたてないといけないかもしれない。

とは言っても、我が家の非常持ち出し袋は空っぽだし、懐中電灯やヘルメットも何処にあるかわからない。まあ、身の回りの整理をちゃんとしてから、やっと涼しくなってきた初秋の夜の虫の音などに、静かに耳を傾けたいものだ。

中切 治

COLUMN

わたしも
かしも



9月28日から、中津川市立図書館にて、明治座の展示がおこなわれます！
昨年東京の明治座で展示された、明治座紹介のパネルや、実際に回る回り舞台の模型などなど... 図書館入り口を明治座がジャックします！そして大変恐縮ではございますが、ミニゼミの講師として参加させていただきます。まだまだ勉強不足なところもありますが..
ここがすごい！明治座は！をテーマに明治座の歴史と、他地域の小屋・劇場と比較して実際に私が感じた事もお話できればなあ... と考えてます。よかったら是非遊びに来てください。

かしも通信
2019年9月25日発行 No.174

Publisher
Hara Yuumi
Editor in Chief
Hata Masafumi
Deputy Editor
Honma Kiyoko
Editors
Taguchi Sachiko
Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Correspondent
Zenda Nao
Illustrator
Honma Kiyoko

FOODS

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。

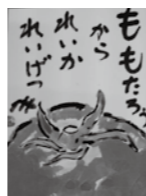


トマトとアボカドわさび合え

トマト農家の若いママに習いました。アボカドとわさびの味付けが衝撃でした。美味しい。絶品です。
若いママは麻婆豆腐、肉じゃがもトマトたっぷり入れるそうです。今年みたいに暑い日は、トマトに美味しい塩(高い塩)をかけて食べれば熱中症予防にお薦めです。トマト品種も桃太郎から麗月、麗夏に代わって来ます。私たちが新しい味に挑戦していきたいですね。

材料

- とまと
- アボカド
- わさび
- 醤油



作り方

- ①トマトを早め切り、ざるにあげて水分をきる。
- ②アボカドを切りトマトとまぜる。
- ③わさびと醤油を混ぜてからトマト、アボカドにかけて混ぜる。冷やして頂く。

★アトラで、声をかけてくださった女性からあげすしのレシピ欲しいと言われました。今まで加子母通信に載せたレシピをファイルして自動販売機の前の机に置きます。ぜひご利用ください。

加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの
こざと

お持ち帰りも好評です！

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財)岐阜県消防設備協会会員

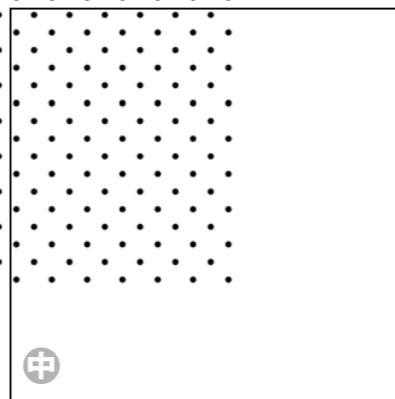
消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を！



Tel. 79-2285

CHILD かしもっ子

中 小 保 乳



中・かしもん誕生

昨年デザインした、加子母小学校マスコットキャラクター「かしもん」が実物として誕生しました。かしもんは、森林組合の内木組合長さんと、アラコ株式会社の濱島社長さんが、神宮備林で見つけて加子母小学校に連れてきてくださいました。今後加子母小の子供達や、加子母の地域を見守ってください。

保・祖父母参観

9月11日(水) 祖父母参観がありました。例年になく暑い日になりましたが、今年度も都合をつけて沢山の方が参加して下さいました。ミニ運動会に加えて交通安全教室を予定に入れた参観です。ミニ運動会では子ども達はもちろんお家の方も子ども相手でも手を抜かず真剣勝負で行って見えました。交通安全教室では指導員さんとお巡りさんのお話を聞きました。チャイルド、ジュニアシート装着の話、道路付近で気をつけることなど命を守る大切な話を改めて子と一緒に学ぶ事ができました。
10月12日(土) 保育園の運動会です。毎日練習も頑張っています。りんごとりなどのプログラムもありますので地域の皆さんも是非観覧応援に来て下さい。

乳・【加子母・付知子育て支援センター くるりんぱ】

- 子育てひろば
今月はお休みです
- 年齢別広場 ～ハロウィンの飾り作り～
・ぞう広場 10月29日(火) ※2016.4.2～2017.4.1 生まれのお子さん(兄弟も参加可)
・うさぎ広場 10月25日(金) ※2017.4.2～2018.4.1 生まれのお子さん(兄弟も参加可)
・ひよこ広場 10月31日(木) ※2018.4.2～生まれのお子さん(兄弟も参加可)
※それぞれ、ふれあいコミュニティセンターで午前10時半～11時半頃開催します
- おしゃべりカフェ+子育てサロン
・10月9日(水) 加子母ふれあいコミュニティセンター 10時～14時30分まで

【加子母保育園 かしもっこ広場】

- 10月12日(土) 10時～11時30分 参加対象：0歳～2歳児 内容：保育園の運動会「りんごとり」に参加
- 10月30日(水) 10時～11時30分 参加対象：0歳～2歳児 内容：子育て支援センターの方がきます

【乳幼児学級 すくすく】

- 白川親子交流会(東白川村・白川町)
日時：10月17日(木) 10:00～12:00(受付9:30)
場所：白川町町民会館
 - げんきっこ広場(3歳児のみ対象) 遠足
日時：10月23日(水) 9:00～14:00(加子母総合事務所集合 9:00)
場所：中津川市ふれあい牧場(雨天の場合：子ども科学館)
- ★乳幼児学級の申し込みは、加子母総合事務所(0573-79-2111)まで★

10月の行事予定

1	火	くるりんぱ開放日(加子母)
2	水	くるりんぱ開放日(加子母) 【小学校】高学年観劇会(南小学校) 子宮・乳がん検診(受付13:30~14:30) ささゆり会館
3	木	【小学校】市教育研究会(13:00下校)
4	金	くるりんぱ開放日(加子母 & 付知) 乳幼児なんでも相談(受付9:30~10:30)
5	土	
6	日	加子母体育祭
7	月	くるりんぱ開放日(加子母) 【小学校】低学年観劇会(北小学校)
8	火	【中学校】3年実力テスト 人権・行政合同相談日(13:30~) 民生児童委員協議会定例会(19:30~)
9	水	くるりんぱ開放日(加子母) 【中学校】市教研教科別研
10	木	【中学校】PTA母親委員会映画上映会(加子母中学校体育館)
11	金	くるりんぱ開放日(加子母 & 付知) 【小学校】1年生社会見学 【中学校】前期終業式
12	土	【保育園】運動会
13	日	大型・有害ごみ(9~13)
14	月	体育の日
15	火	くるりんぱ開放日(加子母) 【中学校】後期始業式 生徒会役員任命式
16	水	くるりんぱ開放日(加子母) 【保育園】避難訓練 慰霊祭参加
17	木	くるりんぱ開放日(加子母) 乳幼児学級(白川流域親子交流会) 【保育園】保育参観 むすび座観劇 【中学校】ロードレース
18	金	【中学校】ロードレース予備日 【中学校】3年生保護者向け進路説明会
19	土	【中学校】中体連駅伝東濃大会 トヨタ紡織森づくり事業(10:30~)
20	日	軽トラ朝市(9~12) 不燃・硬質・資源ごみ(16~17)
21	月	くるりんぱ開放日(加子母) 【保育園】木育 【中学校】教育長訪問
22	火	
23	水	くるりんぱ開放日(加子母 & 付知) げんきっこ広場(ふれあい牧場遠足)【保育園】秋の遠足 農事改良組合長会議(19:30~)
24	木	3か月健診(受付12:45~13:00) 付知会場 【保育園】誕生日会 【小学校】4年生社会見学 【中学校】旧恵北地区合唱交流会(3年生) 【中学校】全校研究会(数学) 区長会(14:30~A会議室)
25	金	くるりんぱ開放日(加子母) 【保育園】内科検診 交通安全教室 【小学校】東へき地複式研究発表会参加(10:30下校) 【中学校】臨時休業日 へき地・複式教育研究大会
26	土	
27	日	加子母文化祭(10~15) 図書まつり
28	月	くるりんぱ開放日(加子母 & 付知)
29	火	くるりんぱ開放日(加子母) 【保育園】木育 【小学校】3年生社会見学 【中学校】2年ハローワーク講話 【中学校】初任者連携校研修(会場校)
30	水	【保育園】かしもっこ広場 【小学校】2年生社会見学
31	木	くるりんぱ開放日(加子母) 【保育園】おにぎりの日 【中学校】1年すぐ技中津川プロジェクト(中島工務店)

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

中京学院大中京が第64回全国高校軟式野球選手権大会で優勝されました!

桂川晋さん(番田:桂川佳さん宅)が在籍する中京学院大中京(瑞浪市)の軟式野球部が、兵庫県明石市で開催された第64回全国高校軟式野球選手権大会で優勝されました。晋さんは中堅手として活躍され、優勝に貢献されました。おめでとうございます!

また、9月29日から開催される「いきいき茨城ゆめ国体2019」高等学校野球競技(軟式)の部にも出場されます。皆さん、応援よろしくお祈りします!

スポーツ・芸術の秋がやってきました

今年も、スポーツ・芸術の秋がやってきました。

体育祭に文化祭、みなさんぜひ参加しましょう!

【第61回加子母体育祭】

◆10月6日(日) 午前8時30分~開会式(雨天中止) 加子母小学校グラウンド(加子母総合グラウンド)

【第44回加子母文化祭】

◆発表の部 10月27日(日) 午前10時開演 加子母公民館(ささゆり会館) 多目的ホール

◆展示の部 10月27日(日)~29日(火) 加子母公民館(ささゆり会館) 第1研修室、ロビー

『加子母図書室まつり』を開催します

今年も「加子母図書室まつり」を開催します!親子やご家族で、ぜひご来場ください。どんな図書室まつりになるかお楽しみに!

◆日にち:10月27日(日)

◆場所:加子母総合事務所内 加子母図書室

※時間や内容など詳しくは、後日チラシを配らせていただきます。

図書室だより

【10月おすすめ図書】

■運転者(著:喜多川泰)

運について書かれているお話です。「自分には運がない」「頑張っているのに報われない」と思っている人は、ぜひ一度読んでみてはいかがでしょうか。

■死ぬまでに一度は行ってみたい絶景神社(発行所:PHP研究所)

日本各地にある絶景神社を1年を通して紹介していきます。美しい写真も観賞しながらお楽しみください。

■自己肯定力(著:鴨頭嘉人)

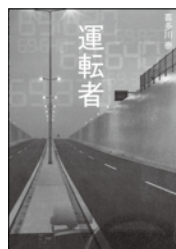
自己肯定感が高い人は、普段使っている「言葉」が違う!この春中学生になった師匠からもらった珠玉の言葉のプレゼント。6年間にわたる15のストーリーをご紹介します。

■ナルニア国物語(原作:C. S. ルイス)

ある4人のきょうだいが洋服ダンスを通して、別世界に行きつき、魔女と戦うお話です。この本で、ぜひ一緒に、魔法がいっぱいの冒険を楽しんでみてください。

■ころべばいいのに(作:ヨシタケシンスケ)

誰にでも嫌いな人はいるかもしれません。そんな時どうするか、考えるきっかけを与えてくれる作品です。



加子母の人口と世帯数(令和元年9月1日現在) 世帯数:971世帯 男:1,354人 女:1,406人 計:2,760人